

## 第2回江古田三丁目重度障害者グループホーム等整備事業に係る情報交換会議事録

日時 令和5年11月22日(水) 11時00分から12時20分まで  
会場 中野区障害者福祉会館 1階会議室(洋室2号)  
実施方法 対面開催  
出席者 ①関係団体 10名  
②中野区職員 7名(障害福祉サービス担当課長、障害者施設係職員3名、施設課職員3名)

### 1 内容

#### (1) 図面説明について

障害福祉サービス担当課長:

1階は身体ユニット、2階は知的ユニットで居室は各6室ある。短期入所は各ユニットへ1室ずつ併設している。図面上、短期入所は北西側(世話人室の上)に配置されているが、各居室に大きな違いはないため、運営の中で場所は決めてもらう想定である。世話人室は居室の中央部分に置き、全体を見渡せるように配置している。

非常時にはバルコニーからも避難できるように南側に螺旋状の非常用滑り台を設置している。

玄関はセキュリティの関係上1つになる。ただし、1階に、出入り口を1箇所ずつ設置し、個別対応も行える想定となっている。

各ユニット内についてご説明する。

浴槽について、1階身体ユニットには機械浴と通常浴(リフトを設置予定)を設置する。

2階知的ユニットには通常浴二つ設置し、内一つはリフトを設置予定。

トイレについて、身体ユニットには多機能トイレを3箇所と通常トイレを1箇所設置する。知的ユニットには多機能トイレ2箇所と通常トイレ2箇所設置する。ユニバーサルバットは各ユニットに1箇所ずつ設置予定。

洗面台について、各ユニットのリビングに1台設置し、身体ユニットは各居室に洗面台を1台設置する。

知的ユニットは脱衣所に2台設置予定。

地域生活支援拠点について、1階共用部分に相談室と多機能トイレを配置する。

駐車場について説明する。

駐車場は、送迎用マイクロバス1台が一時停車できるスペースと乗用車2台置けるスペースを確保する予定であったが、「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づく緑化計画の関係でマイクロバス1台と乗用車1台分のスペースしか確保できない場合がある。こちらについては、東京都と協議する予定。

#### (2) 要望・意見交換

団体:

図面について説明いただいたが、図面と一緒に詳しい説明書きがあれば良かった。

居室の広さが1階(身体)と2階(知的)で同じだが、知的、特に強度行動障害等の場合はもう少し狭くていい。その分リビングを広くすることもできるのでないか。将来的に用途が変更になることを考え

て同じ大きさになっているのか。多機能のトイレ1つは大きめに作っても良いのではないか。前回は伝えたが、重度の知的障害が対象となると玄関はやっぱり分けた方がいいと思う。その時の体調等により暴れたり走り回ったりして接触事故が起こる可能性がないとは限らない。2階の利用者用に玄関から入り直接2階に上られるような玄関を作りたい。

団体：

エレベーターの広さが1階と2階で異なるがどちらが正しいか。

区：

2階が正しい。ストレッチャーが入れる大きさを想定している。

団体：

居室の広さについて、15.1㎡の想定で1階も2階も作っているということか。居室1だけ他の部屋より大きいようだが。

区：

同じ大きさ(15.1㎡)である。壁の厚みで実際の面積は12.6㎡になる。約7.5畳くらいになる。

団体：

居室の広さは理解できた。地域生活支援拠点の相談室が事務室を通らないと行けない。別に入り口が必要でないか。運営事業者としては問題ないのか。前提条件では相談室兼医務室10㎡となっているが、医務室の機能はどうなっているか。避難経路に関しては、階段でなくスロープということで安心できた。

団体：

居室内で車椅子が回転できるのか既に疑問が出ている。ベッドとタンス等を置き、重度の子はたくさんのおむつもある。医療的ケアが必要な子は個人の備品もある。一人一人の荷物が想定よりかなり多いと思う。寝ている状態に近い子が部屋で反転できるのか。介助者が入って反転できるスペースがとれるのかというと絶対無理である。7.5畳では恐らく回れない。正直現実的な広さではない。廊下も狭い。縦の長さだけでなく、横に荷物をぶらさげているため横幅をとる。もっと広いスペースを想定しないとすれ違えない。エレベーターは大きめの車椅子なら何台乗れるのか。人数でなく何台なのか、1台につき介助者がつくのでそれも含めて考えていただきたい。脱衣所も狭い。脱衣所で脱ぐのは無理である。

居室にトイレはないのか。居室にトイレがあった方が、ベッドに寝かせて汚れたところを拭いたり、介助もしやすい。居室になければ、トイレの失敗時には部屋に着替えを取りに戻らなければならないことが想定される。江古田の入所施設では居室にトイレがあり、洗面台のところに格納状態になっており、パタンとたおすと使えるトイレがある。そういうトイレだとスペースとれなくても設定できるのではないか。洗面台を常設するのならトイレも考えてほしい。介護者が動きやすいスペースを確保してほしい。介護者が動きにくいスペースでは介護者が体を壊してしまう。利用者だけでなく介護者のことを考えた設計をしていただきたい。

団体：

トイレは知的で車椅子利用の人が通れる広さなのか。浴室に排泄時のトラブルのためのシャワーブースが必要なのではないか。車椅子が通れる脱衣所、衣類の着脱ができるスペースを要望する。1階も車椅子の方が通るのに廊下が狭いと感じた。居室に見守りシステムの導入をお願いしたい。短期入

所に関しては各1名でなくもっと受け入れて欲しい。

世話人はどのような想定なのか。運営事業者に図面は渡しているのか。出入口は引き戸か。

区：

世話人については決まっていない、運営事業者には図面を渡して要望も伺っている。出入口は引き戸である。

区：

いただいた質問で回答していないものについて説明する。

玄関を別々で設けた場合、事業者がそれぞれに人員配置が必要になる。玄関が分かると独立する形になるので職員同士の連携が難しくなる。1階の利用者は玄関から入り、2階の利用者はその方の状態にもよるが、運営事業者が運営する中で、出入りするタイミングを変えたり、外階段を使って別ルートで入るなどの工夫で対応するのが好ましいと考えた。事務室からはホール、玄関を見渡せる位置に配置している。

団体：

知的でも車椅子の人は居室を広げたり、そうでない人は狭めたりして強弱をつけてもう少し事務室、相談室を広くしてもいいのではないか。これから作るものなので、相談室兼医務室といわず、単独で医務室を設けるべきだと思う。1階の方が面積を多くとられるので、相談室を2階にもってきて1階の脱衣所を広くするなど工夫が必要だ。

区：

一般論になるが、大体事務室は1階にある。他のグループホームの見学に行った2件とも玄関1つで事務室1階であった。

団体：

相談室について、相談室と医務室を一緒にするのはどうなのか

区：

相談室は今の図面だと事務室を通らないと相談室にいけない。

団体：

例えば、1階にある多機能トイレを1個やめて相談室にすれば単独になる。またトイレは車椅子が入れないトイレはあっても意味がない。脱衣所にはあったほうがいいが、あちらこちらにトイレがあるのなら、別の目的の部屋を作った方がいい。

区：

ユニットの中のトイレの数については、東京都の決まりがある。エレベーターの隣にあるトイレは外部から来た方のトイレになる。

団体：

相談室について、ここに地域生活拠点の役割をもたせるとなると、ある意味中野で最初の大切な役割を果たすことになるので、いろんな事業所さんが係わると考えるとやっぱりこの形は違うかなと思う。再考していただきたい。

区：

相談室を廊下側から入れる位置にしてほしいと言うことか。

団体：

相談に来る方は事務所を通りたくない方もいる。こっそり相談に来たい人もいる。

団体：

今日これで全部が決まるわけではなく、まだ日にちがある分練り直すことが可能で、今日のこういう話をする中でなぜ運営事業者がいないのか。運営事業者にも図面が出てこのような意見ができることを知っていただきたかった。こちらの要望に対して事業者の意見も聞きたかった。

区：

皆さんの要望を聞いていく中で、どんなグループホームを作っていくかイメージするため、いくつかグループホームを見学している。玄関についても2カ所あるのは望ましいと思うが、実際グループホーム見学に行ったところ、強度行動障害の方がいたりすると、セキュリティ上、玄関が複数あると難しいとか職員体制がとれないという話も聞く。キッチンについても知的と身体では変えていて、知的の方ではどうしても手を伸ばしたりしてしまうため、扉をつけるなど、細かいところまで確認している。イメージできる内容で私たちは作っている。皆さんからご意見いただき、変えられるところがあるのかどうかというところを検討して、施設課と調整していきたいと思う。全てを叶えられるのが望ましいが、できないところもあることはご了承いただきたい。

団体：

交流スペースはどこにあるのか。

区：

交流スペースについてはリビングが兼ねている。

団体：

交流スペースとは入居者間なのか地域との交流なのか。

区：

入居者間の交流の想定で、リビングで代用できると考えている。リビングも当初の予定より広くとっている。

団体：

2階の屋上室外機置き場は2階のところが屋上なのか

区：

そのとおり。屋根も壁もない。室外機や変電設備を置く。

団体：

これを更に上に持って行けないか。そうすることで、利用者だけでなく、地域に貸し出せるような交流スペースを作ってはどうか。地域に説明する際に、貸出しできるスペースがあると反対意見があった時に説明しやすい。このスペースがもったいないかと思う。

区：

北側で場所的にあまり良くないところにある。

団体：

中野区内の場所がないときに町会とか地域の話し合いでこういうスペースがあると良い。地域の交流スペースを作れるところがあれば、作っていくべきだと思う。

区：

交流スペースは利用者の交流と考えていて、北側は民家が近いため、騒音等を想定してこのように

している。地域との交流については検討する。あと敷地のどこまで建てられるかという法律があるので、バランスも考えていかなければならない。

団体：

グループホームなので、個人の居室が一番大事である。居室がきちんとしていけば、落ち着いて暮らしていくことができる。交流できればいいが、交流が苦手な子どももいる。だから個室を充実させてほしい。

区：

廊下幅が狭いという話について、リビングから世話人室につながる廊下については2mあり、ストレッチャーの想定はなかったが、車椅子同士すれ違うことができる幅はとってある。車椅子が何台入れるかについては今答えられない。

団体：

エレベーターの大きさもそうだが、間口がどうなのかという話をした。建物の大きさから考えて、そこまで大きい物はつけられないのはわかっているが、間口は広くしてほしい。

区：

要望については検討する。他のグループホームを充分見学して作成しているが、想定しきれなかった部分もあるので、頂いたご意見はありがたいと思う。備え付けのクローゼットについてグループホームの見学で実際に入居者の部屋を見せていただいたが、荷物を工夫して収納し、できるだけ部屋を広くするように工夫している。居室についてはよく考えられての広さである。

団体：

こだわりがなければ、タンスを持ってこなくていいとして、テレビを置き、医療機器を置き、吸引器を置き荷物がたくさんある。これを置いても反転できるのか。そういう子は入れないという残念な結果にならないか。

重度の子はかなりリクライニングした状態で車椅子に乗っている。だから単純に考えても長い。よく垂直の車椅子を想定されるが、重度の子はベッドに近いリクライニングのものに乗っている。医療機器をたくさん積んだ子を居室の入り口で車椅子から下ろして連れて行かなければならないのでは何の意味もなくなる。

団体：

ひさしの幅について確認したい。マイクロバスが入ってきたとき、雨に濡れないで中に入れるのか。

区：

検討する。

団体：

居室に関してベッドは利用者が持ち込むのか

区：

グループホームは部屋を借りるイメージ。ベッドやカーテンは利用者負担になる。

団体：

コンセントの位置が大事。大体下の方にコンセント口がついているが、タンスや機材を置くと使えないので上の方にほしい。

団体：

短期入所はベッドがあるのか。短期入所にベッドを置いてくれるなら、提案だが、床まで下がるベッドを配置してほしい。

区：

短期入所はベッドを配置する。コンセントの位置については実施設計の段階になると思う。ご意見は参考にする。

団体：

各居室の空調に関してはどうなるのか

区：

調整ができていないので、検討させていただく。

区：

次に基本計画ができる3月に保護者向けの説明会を予定しているが、時期がきたら、またお知らせする。